

フードバレーとかち産業振興支援コーディネータ委託業務 仕様書

1. 委託業務名

フードバレーとかち産業振興支援コーディネータ委託業務

2. 業務の背景・目的

フードバレーとかち推進協議会では、これまで、十勝の農と食の付加価値向上を目的として、平成28年度から令和元年度にかけ、十勝管内の生産者・事業者の商品開発、販路開拓に関するコーディネート業務を実施し、首都圏トップシェフと生産者のマッチング、ハイクラスホテルや百貨店での十勝フェアなどを通じて、十勝の食材の継続取引につながるなど一定の効果を出すことができた。

令和元年度には、地域に人を呼び込むため、地域事業者が主体となって十勝産食材の魅力を発信する体制構築の必要性から、新たな地産地消モデルの構築を目指した連携事業を実施した。食を介して生産者や消費者、加工販売関係者がつながる新しい地産地消モデル「グローサラント」が有効であるとの結論を得て、グローサラント構築を目指す法人が設立されるなど、地域事業者グループの動きが活発化している。

一方で、十勝でグローサラントを展開するにあたり、十勝の気候及び地理的特性による流通品目の季節変動や、多くの地域事業者が参画する必要性などの課題が浮き彫りとなってきた。さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の消費行動にも変化が起きることが予想される。

上記の課題を踏まえ、本事業では、収益性の高い地産地消の実現に向け、地域特性を踏まえた十勝型グローサラントの構築に向けた検証のほか、大都市圏で売れる商品開発、十勝産食材を活用した食イベントの開催等、域外の市場に向けた販路拡大の取組み、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえたオンライン活用による十勝ブランドの向上など、地域産業振興に係る業務を実施する。

3. 業務期間

契約日より令和3年3月17日まで

4. 業務内容

(1) 地域事業者が主体的に取り組める新たな地産地消モデルの構築を目指した連携事業

- ・飲食店や消費者が地域食材を安価に購入でき、かつ、生産者の増収につながる仕組みづくり
- ・地域の食材、食の情報について、飲食店や消費者への適切な情報発信
- ・飲食店が良質な「食」を提供するための事業者間の連携

上記の実現を目指し、以下の取組みを実施する。

① 十勝に合った地産地消モデル（グローサラント）の実現にむけた検証

- ・中心市街地、郊外など、当地に適した立地場所の検証
- ・十勝の農業生産の特徴を踏まえた商品の確保の手法

② その他、事業実施に附随する業務

(2) 加工業・販売業との連携による付加価値向上

① 有識者の協力を得た、大都市圏で売れる商品づくり

(商品開発を目的とした研修会、個別相談、商談会の開催、価格の低い食材の新たな加工による高付加価値化 等)

② その他、事業実施に附随する業務

(3) 十勝の食の高付加価値化を目指した取組みに係る業務

① 域外百貨店等における十勝産フェア、その他食イベント等の開催における、事業実施に向けた生産者及び食材のコーディネート

② ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたオンラインの活用による販路拡大、ブランド価値向上に向けた取組み

③ 過年度に実施した、十勝の販路拡大やブランド価値向上を目指した取組みにおける、地域の生産者・事業者の商取引に関する状況の確認、フォローアップ

④ 十勝におけるブドウ生産及びワイン製造における普及啓発に関する業務

(4) 報告書の作成 ((1)～(3)の取組みを踏まえた以下の内容)

① 成果報告

② 課題分析、提案

5. 成果品の納期

「3. 業務期間」の期日までとする。

6. 成果品等

(1) 成果報告書 1 部

(2) 上記の電子ファイルが格納されている電子媒体一式

7. その他

(1) 本仕様書に定めのない事項及び疑義がある場合は、双方協議の上定めるものとする。

(2) 本仕様書に定めのない事項であっても、発注者が必要と認め指示する簡易な事項については、業務委託料の範囲内で実施するものとする。

8. 業務完了報告書の提出先

北海道帯広市西 5 条南 7 丁目 1 帯広市経済部経済室経済企画課内
フードバレーとかち推進協議会事務局 担当 柴田